

「早めに始めようハエ対策！！」

【ハエの計画的防除】

暖かくなるとハエが発生し始めます。今のうちに除糞や清掃を行い、越冬している卵、ウジ、サナギ、成虫を減らしておくと、以後のハエ対策が楽になります。糞は堆肥舎やコンポで素早く堆肥にして、卵やウジを徹底的になくすことが大切です。

○堆肥の切り返しは1週間おきに行う

堆肥は、1週間おきに切り返し作業を行うことにより、表層部で60℃以上の高温発酵が進み、ウジが死滅します。

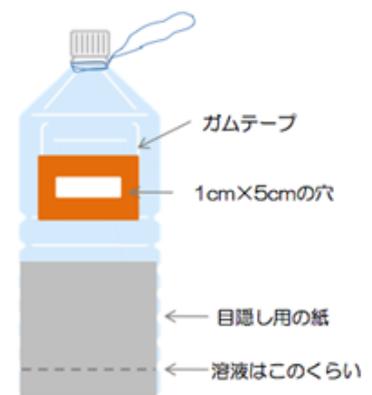
○動物薬(脱皮阻害剤)による幼虫防除を約2週間おきに行う

成虫は堆肥の表面に産卵し、孵化したウジは2回脱皮してサナギを経て成虫になります。春はまだ気温が低くウジの期間が10日程度(夏季は5日程度)かかるため、約2週間おきに堆肥の表面に脱皮阻害剤(IGR剤)を散布します。

○ハエ取りペットボトル等による成虫の捕殺

補助的手段として、誘引剤入りハエ取りペットボトル等で成虫を捕殺します。

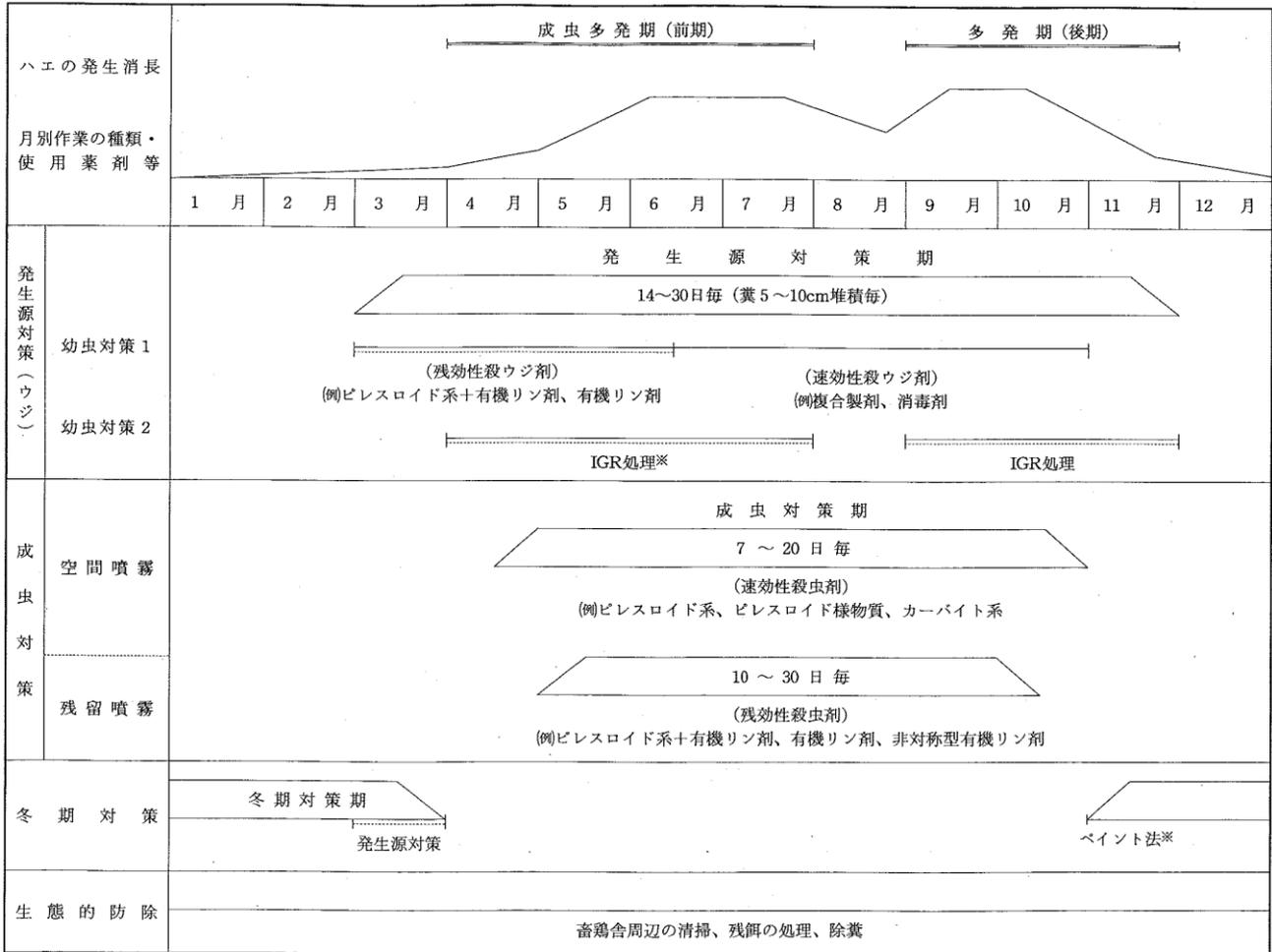
誘引剤は、酒と酢と砂糖の3種類を1:1:1の同量割合で混合し、腐敗防止のため少量(数滴)の食器用洗剤を加えて使用します。これを地上1~1.5メートルの高さで畜舎内やその周辺に吊るしておきます。



○畜産物への薬剤残留を防ぐために

ハエなどの害虫対策に使用する薬剤は動物用医薬品です。定められた用法・用量を守って使用し、記帳をしておきましょう。

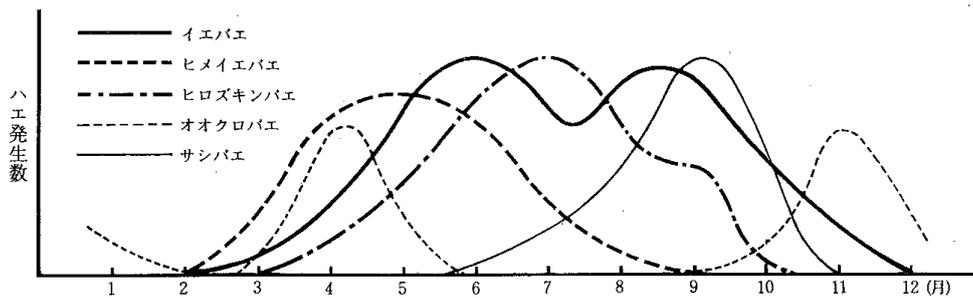
年間防除計画



*IGR処理……IGR剤（昆虫の発育抑制剤）を堆肥などに散布する。

*ペイント法……天井や壁に残効性の強い薬剤を塗布し、そこにとまったハエを駆除する方法。

畜鶏舎内、及びその周辺におけるハエ類の季節消長



発生、活動、休息場所

区分	種類	発生場所	主な活動場所	主な休息場所
屋内	イエバエ	ごみ処理場、畜鶏舎 堆肥場、放牧場	給餌場	主として天井
	ヒメイエバエ オオイエバエなど	畜鶏舎、堆肥場	家畜の体表 台所など	樹木や草の幹及び 葉の上
屋外	クロバエ キンバエ ニクバエなど	畜鶏舎、堆肥場 ごみ処理場 ごみ箱など	堆肥舎 地面 ごみ箱など	樹木や草の幹及び 葉の上